

ベルーナドームでのプロ野球観戦者が所沢市にもたらす経済効果

横浜国立大学 経済学部

寺本幹大

指導教員 居城琢

第1章

1.1 はじめに

2020年にコロナウイルスの初の感染者が発見されて以降、コロナウイルスという未知のウイルスが、様々な方向で多大な影響を与えている。厚生労働省(2022)によると、2020年以降コロナ感染者は200万人以上に上り、死亡者数も4000人近くいとされている。その状況下において、感染状況が刻一刻と変化する中で、政府や医師会等が様々な施策を発表し、コロナ禍前の生活に取り戻そうと奮闘している。その中で、このコロナウイルスというウイルスがスポーツ界にも大きな影響を及ぼしたと考える。2020年に開催を予定されていた東京五輪の延期、様々なスポーツイベントにおける入場規制など、日本に限らず世界中のイベントにおいて制限がかけられている。さらに野球界においては、コロナ禍によりプロ野球の試合が無くなったり、甲子園の中止が決定したりと他協議と同様に様々な悪影響を受けると共に、そもそも少子化による野球人口の低下に歯止めがかからず、拍車がかかっている。プロ野球の試合においては、一番の醍醐味であった声を出しての応援ができないという状態になり、プロ野球の観戦者も年々減少していた。さらに、総務省(2016)によると、2001年には野球の競技人口が1220万人程だったが、2006年には973万

人まで下がり、さらにここ10年間では約3分の2にまで減少するなど人気に陰りが出てきているということは言うまでもない。

上述のような厳しい状況において、この苦境を乗り越えようと、球場をあらゆる世代のお客様が楽しめる空間を作ろうと球場周辺を改修するなど策を打ったのが、ベルーナドームを本拠地とするプロ野球チームの埼玉西武ライオンズという球団である。本研究では埼玉西武ライオンズが所沢市に与える経済効果だけでなく、社会的な効果についても有意な効果を含むと考える。

1.2 研究手法、先行研究

本研究では、Google formを利用したアンケート調査を実施した。調査の趣旨と回答方法を記載した調査案内を、プロ野球ファンが多く集まっているLINE上のオープンチャットやSNSを用い配布した。また、杉浦、福田(2011)の「地方開催試合におけるプロ野球観戦者の消費傾向に関する研究」、八尋・外井(2011)の「プロ野球観戦者がもたらす関連産業への来客と経済効果の研究」を参考に経済効果の推計を行った。

第2章 2022年の埼玉西武ライオンズについて

2020年にコロナウイルスの流行して以降、無観客試合の発生やプロ野球の応援に対する制限が多く、コロナ禍前の野球の応援のスタイルを行うことができず、大きな盛り上がりには欠ける状況に陥っていた。しかしながら、2022年シーズンからは、withコロナの考え方の下、プロ野球界では様々な変化が起きた。その中で、埼玉西武ライオンズでは球場のリニューアル等の影響からか、大幅な観客動員数の増加が行われた。2020年、2021年ともに1試合平均が1万人を割るという状況になっていたが、今シーズンは16837人とコロナ禍前よりは増えたとは言えないが、大きく回復し、業績向上に貢献した。そして、2023年シーズン以降も、コロナ禍以前のレベルまで人気を戻せるように様々な案が思慮されている。

表 1:埼玉西武ライオンズ年間来場者数

年	2019	2020	2021	2022
来場者数 (単位:千人)	1,821	300	620	1,212
試合数	72	45	71	72
平均	25,299	6,669	8,737	16,837

3. 推計

ここからは、所沢市が得た経済波及効果について観戦者によるアンケートを基に細かく推計をしていく。

3.1 調査結果

本研究の回答者は95名であり、観戦者が試合開催日にどれだけのお金を支払ったのかということを経験から尋ね

た。具体的な項目としては、①宿泊費、②駐車場・駐輪場代、③交通費、④チケット代、⑤飲食費(球場内)、⑥飲食費(球場外)、⑦グッズ代とした。

上記7項目すべてに関して「Google Form」を使用して、アンケート調査を行った。なおいずれの区分についても回答者が実際に支払った金額を尋ねており、例えば同行する友達の分まで支払ったことを想定して同行した人数で除する等の操作は行わなかった。

3-1-1 消費金額

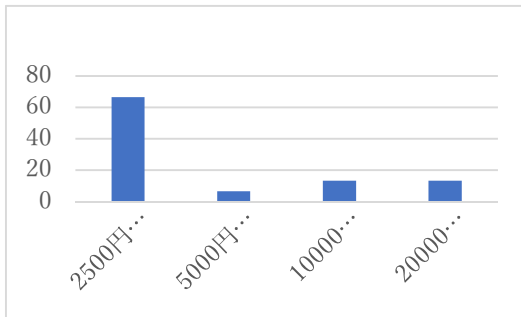
(1) 宿泊費

ベルーナドームへの観戦の中で宿泊費を支払った者は15.7%であった。支払い金額の最低は2500円、最高は2,5000円であり支払者における平均は、8000円であった。

支払額を区分して考えてみると、表2に示してある通り、最多は「2500円超3000円以内」(66.6%)で、以下「10000円超15000円以内」(13.3%)、「20000円超25000円以内」(13.3%)、「5000円超10000円以内」(6.6%)の順となっている。

所沢市内には、3000円程のカプセルホテルが点在しており、66.6%の支払者はこれらのホテルで宿泊したものとする。

表 2:宿泊費



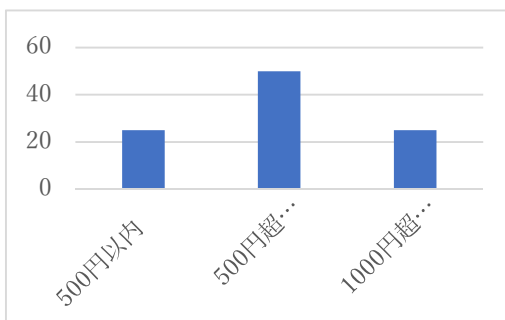
(2) 駐車場、駐輪場代

ベルーナドームへの行き帰りの途中で駐車場、駐輪場代を支払った者は21.5%であった。支払金額の最低は500円、最高は1500円であり、支払者の平均は1000円であった。

支払額を500円毎に区分した分布をみると、表3が示している通り、最多は「500円超1000円以内」(50.0%)、以下「500円以内」(25.0%)、「1000円超1500円以内」(50.0%)の順となっている。

ベルーナドームに併設されている駐車場は1500円、付近の駐車場は1000円となっているため、多くの支払者がこれらの駐車場に止めていることが分かる。

表3: 駐車場、駐輪場代



(3) 交通費

ベルーナドームでの行き帰りの道中で交通費を支払った者は68.4%であった。支

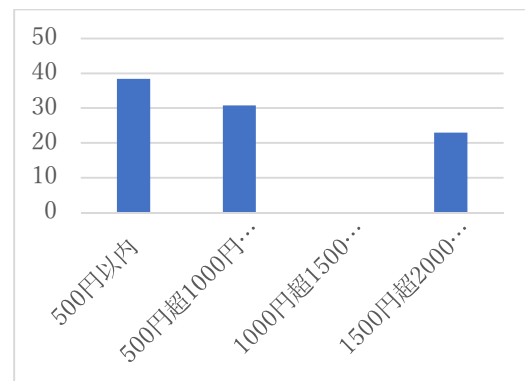
払金額の最低は500円、最高は15000円であり、支払者の平均は2115円であった。

支払額を500円毎に区分した分布をみると、表4が示している通り、最多は「500円以内」(38.4%)、以下「500円超1000円以内」(30.8%)、「1500円超2000円以内」(23.0%)の順となっている。

調査対象の3分の1以上が500円以内の交通費であり、2000円以内までで9割を占めている。

ベルーナドームの最寄り駅は終点であり、なおかつ1つしかなく、500円以内での交通費ということを考えると、多くの人々が所沢市内の移動を行っていることが予想される。

表4: 交通費



(4) チケット代

チケット代に関しては、ファンクラブ加入による優待券などを利用し、0円で入場したという結果も見られたため、それに該当する4名を除く91名で考慮する。

支払金額の最低は1000円、最高は10000円であり、支払者の平均は4308円であった。

支払額を1000円毎に区分した分布をみると、表5が示している通り、最多は「2000

円」(30.8%)、「5000円」(30.8%)、以下「10000円」(15.3%)、「1000円」(7.6%)、「3000円」(7.6%)、「4000円」(7.6%)の順となっている。

ベルーナドームでは、最も人気とされている内野指定席が2000円で購入することが可能であり、多くの方が内野自由席を購入していることが考えられる。

(5) 飲食費 (球場内)

ベルーナドームで飲食費を支払った者は78.8%であった。支払金額の最低は、1000円、最高は4000円であり、支払者における平均は、1733円であった。

支払額を1000円毎に区分した分布を見ると、表6が示している通り、最多は「1000円以内」(46.6%)、以下「1000円超2000円以内」(40.0%)、「2000円超3000円以内」(6.6%)、「3000円以上4000円以内」(6.6%)の順となっている。

調査対象の約半数が1000円以内の消費であり、2000円以内までで9割を占めている。

表5:チケット代

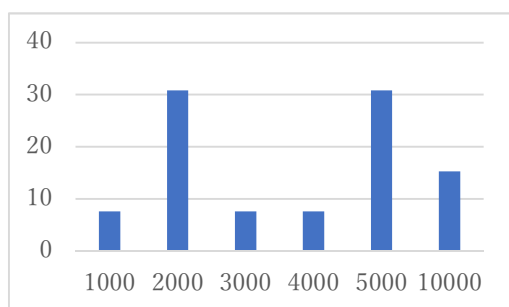
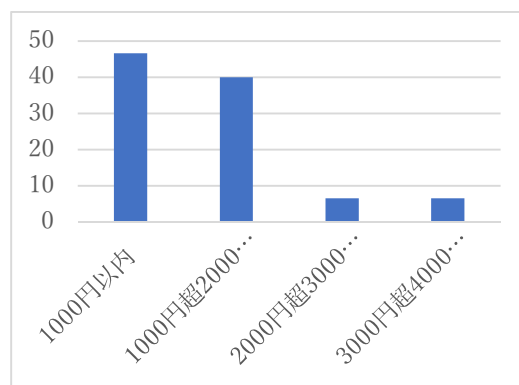


表6:飲食費 (球場内)



(6) 飲食費 (球場外)

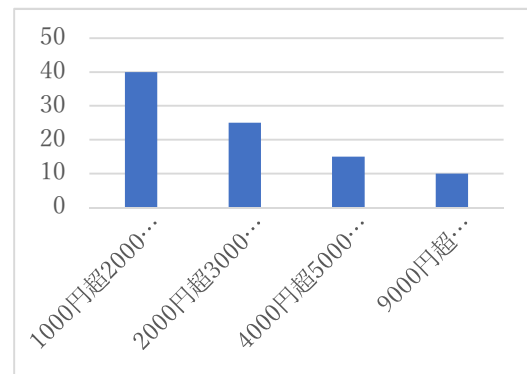
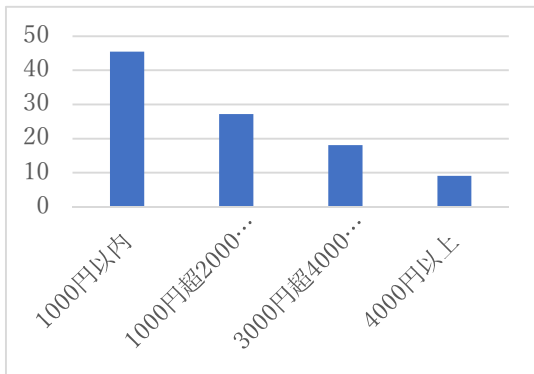
ベルーナドームの球場外での飲食費は、所沢市内の飲食店での利用に限ると指定した。

ベルーナドーム外で飲食費を支払った者は57.8%であった。支払金額の最低は、200円、最高は15000円であり、支払者における平均は3090円であった。

支払額を1000円毎に区分した分布を見ると、表7が示すとおり、最多は「1000円以内」(45.5%)で、以下「1000円超2000円以内」(27.2%)、「3000円超4000円以内」(18.1%)、「4000円以上」(9.1%)の順となっている。

調査対象の約半数が1000円以内の消費であり、ベルーナドーム付近においては小さな大衆居酒屋が存在していることから、多くの観戦者がこの居酒屋を利用しているのではないかと推測することができ、4000円以内までで約9割を占めている。一方、所沢市内に電車で行くと、埼玉西武ライオンズファンが集うスポーツ居酒屋が点在しているため、試合後夜遅くまで試合を楽しみ、お金も多く使う傾向にあると推測できる。

表7:飲食費 (球場外)



(7) グッズ代

ベルーナドーム内でのグッズ費は、ベルーナドーム内の会社の利益として取り上げられるが、所沢市内への貢献として経済効果として計算する。

ベルーナドーム内でグッズ代を支払った者は、84.2%であった。支払金額の最低は、1500円であり、最高は30000円であり、支払者における平均は5500円であった。

支払額を区分した分布をみると、表8に示す通り、最多は「1000円超2000円以内」(40.0%)で、以下「2000円超3000円以内」(25.0%)、「4000円超5000円以内」(15.0%)、「9000円超10000円以内」(10.0%)の順となっている。

調査対象の90%が10000円以内の買い物をしており、低頻度高価格でグッズを買うのではなく、高頻度低価格でグッズを購入していることを推測できる。

表8:グッズ代

3-1-2 推計

ここからは、所沢市に与えた経済効果について、上記の消費金額を考慮し、細かく推計していく。推計においては、支払額は平均額から計算し、全体への経済効果として発出する。さらに、回答者における割合を試合当日の観客動員数から計算して考える。

前提として、2022シーズンにおいて考え、ホーム開催試合全72試合、平均観客動員数16,837人として計算を進める。

まず、宿泊費について考える。宿泊費においては、宿泊費を支払った者は全体の15.7%であるから、2643人と設定することができ、平均金額は8000円となっているため、合計金額は、2,114,400円と分かる。リーグ、セリーグ共に在京球団は一定数存在しており、宿泊費はビジターチームにおいてもそれほど変わらないと考えるため、ホームチームビジターチーム関係なく共に合算して計算をしている。

次に、駐車場、駐輪場代において考える。駐車場、駐輪場代においては、この代金を払った者は、21.5%であり、3620人と設定することができ、平均金額は1000円となっているため、合計金額は3,620,000円と分かる。これも同様に、在京球団が存在し

ており、それらのファンが車等で観戦しに
来ている可能性は十分に考えられるため、
合計金額は以上のようなになる。

次に、交通費について考える。交通費に
おいては、交通費を支払った者は、68.4%
であり、11517人と設定することができる。
自分自身の経験を基にも考えると、ビジタ
ーチームにおいても妥当であるとする。
平均金額は2115円とされており、合計金
額は、24,358,455円と分かる。交通費に
おいては、宿泊費とは異なるという文言をア
ンケート内に付与しているため、地方から
訪れる観戦者の飛行機代等は、宿泊費に内
在しているものとする。

次に、チケット代について考える。前述
したように、今回のアンケートでは95名
の中で4名の方、つまり4.2%の方がファ
ンクラブ優待チケットを利用し無料で入
場しているという結果であった。一般的に、
1つのスタジアムにおいて、ホームの観客
は60%、ビジターの観客は40%であるこ
とを考慮すると、上記の優待チケットを利
用した観客数は、ホームゲームのファンの
みを使用しているため、「平均観客動員数
×60%×4.2%」と分かるので425名であ
ると推測できる。つまり、それ以外の人々
はチケットを購入したと考えられるので、
残りの16412名が平均金額4308円で、チ
ケットを購入したため、合計で、70,702,896
円であると分かる。

次に球場内における飲食費について考
える。飲食費においては、ホームチームの
ファンのみ購入したということは考えにく
いため、合計である観客動員数を用いて、
ビジターチームファンも合算して計算す
る。球場内において飲食費を支払った者は、

78.8%であり、13,267人と推定される。そ
して、平均金額は1733円とされているの
で、合計は22,911,711円と分かる。

次に、球場外における飲食費について考
える。アンケートにおいて所沢市における
飲食店での利用に限ると指定しており、飲
食店の利用に関してどちらのチームも利
用している可能性は考慮できるため、全体
の観客動員数を基に計算する。球場外に
おいて飲食費を支払った者は、57.8%で
あり、9731人と推定できる。そして、平均金額
は3090円であるため、30,068,790円と分
かる。

次に、グッズ代について考える。グッズ
代においては、ホーム球場にはビジターの
グッズ販売店は少なく今回のアンケート
では、ビジターチームのファンのアンケ
ートを十分量取ることが難しかったため、ホ
ームチームのグッズ費用のみ考える。前述
のチケット代において考えたように、ホ
ームゲームのファンの割合は全体に60%と
なっているため、「平均観客動員数×60%」
で導出され、10,102人がホームスタジアム
のファンであると考えられる。そして、こ
の中において84.2%がグッズを支払った
者とされているので、8,505人と推定さ
れる。また、平均金額5500円とされて
いるので、46,777,500円と分かる。

4. 考察

ここまで、2022年シーズンにおいてベル
ーナドームでのプロ野球観戦者が所沢市
にもたらす経済効果に関して推計を行っ
た。これらすべての推計額を合計すると、
ホームゲーム開催の1試合で200,533,752
円の経済効果を生み出していると分かっ

た。ホームゲームは1年間で72試合開催されるので、1年間の合計金額としては、14,439,870,144円となる。こうして、プロ野球を開催するにあたり、ベルーナドームがある所沢市は大きな経済効果を生み出していることが分かる。コロナ禍において、若干の制限緩和が進んできているが、球場を持つ市区町村においてもプロ野球という興行は非常に大きな力を持っており、いまだに残る制限というものが、地域発展の足かせになっている可能性すら生じていると考える。以上のことから考えると、球場自体の発展に限らず、周辺地域にとっても及ぼす影響は大きいものだと考えられるため、野球場が地域に対して果たす役割はその地域にとって重要なものであると考えた。

また、球場内においてもコロナ禍以前の盛り上がりにはまだ達していない。表1にも上げたように、全体の観客動員数の観点から考えると、いまだに1試合で1万人もの観客数が球場での応援という形で、野球場には戻ってこれていないが、2023年シーズンから声出し応援が可能になり、再び足を運ぶ人が増えてくると思う。さらに、昨今の野球人口の低迷、サッカーワールドカップにおける日本代表の躍進、今後開催されるラグビーワールドカップにおける盛り上がりを見ると、プロ野球を見る人さえ、このまま減少してしまっても感じている。野球人口の増加の観点から考えると、やはり2023年3月開催のWBC（ワールドベースボールクラシック）に期待したいと思う。

参考資料

八尋和郎・外井哲志・梶田佳孝（2011）「プロ野球観戦者がもたらす関連産業への来客と経済効果の研究—福岡ソフトバンクホークスを事例として—」

<https://cir.nii.ac.jp/crid/1390282679188912896>

杉浦善次郎・福田拓哉（2011）「地方開催試合におけるプロ野球観戦者の消費傾向に関する研究」

https://numcjc.repo.nii.ac.jp/?action=repository_action_common_download&item_id=301&item_no=1&attribute_id=21&file_no=1

厚生労働省ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

総務省ホームページ

<https://www.soumu.go.jp/>

猶原彬・居城琢（2021）「新型コロナウイルスが倉敷マスカットスタジアムに与えた影響」

https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=11803&item_no=1&page_id=59&block_id=74